

# 南アフリカ共和国でリフトバレー熱流行

2010年5月12日 厚生労働省情報



南アフリカ共和国保健省は、国内におけるリフトバレー熱の拡大について注意を呼びかけています。

5月3日、同保健省はこれまでに、患者172名、死亡患者15名が確認されたと発表しました。患者は、主に、フリーステート州、北ケープ州、東ケープ州の牧場関係者、獣医師などですが、サファリツアーに参加した外国人観光客の感染も報告されています。

予防対策について、以下のことが示されています。

1. 南アフリカの感染例から、リフトバレー熱は家畜や野生動物に直接接触したり、それらの血液や臓器等に触れて感染することが多いので、可能な限り接触しないようにする。
2. 蚊が媒介して感染することもあるので、長袖、長ズボンを着用し、素足でのサンダル履き等は避け、虫除けスプレーや蚊帳等を使用し、蚊に刺されないようにする。
3. 6月に開催されるサッカーワールドカップの開催地のうち、日本代表の第一試合があるフリーステート州ブルームフォンテン市の郊外には牧場が多いので、この地域に行く場合は特に注意する。
4. 帰国後に発熱等の症状が出た場合には、受診して医療機関の医師に対し、南アフリカ滞在中にリフトバレー熱に感染した可能性のあることを伝えること。

厚生労働省 福岡検疫所